

踏まね踏まれても生きて戻る

NO.8 2024.6.19

いたばし雑草通信

編集：発行 木村松夫

090-8646-9757

matsuokimura@gmail.com

メール発信のみの情報紙です。無料購読希望の方はメールでお申込みください。鮮明画像のPDFでお送りします。

ブタナのめしべ（雌蕊）の先は芸術品 キク科



キク科の植物って、ハキダメギクとかノボロギクとか意地悪な名付けが多くて、秋の花粉症の原因と言われているのがオオブタクサ。この写真の草は「ブタナ=豚菜」です。といっても、もともと原産地のフランスで「豚のサラダ」という名だったのをそのまま和名にしたもので、命名者に悪い印象はないようです。

それどころか、葉はゆでて食べられるし、根はタンポポコーヒーにできるのだから有用な植物。でも、まちなかではほとんど見られません。赤塚公園の大門地区では10年ほど前に1回登場して以降は消滅、中央地区では毎年花時に草刈りでなくなっていました。我が家の近くの環七沿いの歩道で久しぶりのご対面でした。

地際から伸びる葉はタンポポそっくりですが、30cmぐらい伸びた花茎には葉が付かないのが特徴。花はキク科の特徴である舌状花の集まりですが、タンポポよりもあっさりとしていて、かなりいい感じ。その花を間近でみると、すくっと立ち上がっためしべ（雌蕊だと思う）の先端が2つに分かれてくるりと輪になっていて、とっても面白く、こりゃ芸術品だと、感激しました。



めしべ (雌蕊) の先がリンク状に丸まるのは

ブタナだけではなかった



ブタナの雌蕊の先はくるりとリング状に丸くなるという「大発見」で得意になったのは素人の浅はかさ。冷静になって、似たような花のタンポポやノゲシはどうなのかを確かめてみなければ断言できないと気が付いて、わざわざタンポポとノゲシの花を探しにいきました。結果・・・、

←**タンポポ (交雑種)** たくさんの舌状花が集まった状態を頭状花と言いますが、その中心部の若い雌蕊は先端が2つに分かれています、受粉体制に入った外側ではぜんまい状に巻いていました。

ブタナと同じでした。一方・・・、

←**ノゲシ**の雌蕊は、この写真を見る限り巻いていませんでした。

花の全体の大きさは20~30mmぐらいで、雌蕊は2~3mmぐらいなのですが、こんな小さな世界でも、種によってそれぞれの個性があることが分かって、また、感激なり！

ところで、これは雌蕊なのか？ 実は雄蕊ではないのか？ などと考え始めたらさらに混乱。素人は物事を分かった風
に言わない方が無難なり！

わたしが facebook をやめたわけ

マーク・ザッカーバーグという人物がハーバード大学在学中に同級生とともに立ち上げたのが facebook。同じ大学に通う友達同士の情報交換・交流を深めるための道具としての SNS の活用でした。会員限定でスタートしたのが 2004 年ということで、もう 20 年の歴史を積み重ねてきたこととなります。わたしは 10 数年前から利用を始めて、ずいぶん活用してきました。

しかし、最近では広告が頻繁に入り込んできたり、わたしが発信している問題意識とは明らかにすれ違っている人からのメッセージが増えたり、スタートした当時の顔見知り同士の交流を深める場という基本目的は失われてしまっています。そこで、赤塚公園ニリンソウを守る会の運営サポーターをやめた 2023 年 12 月、「facebook も利用休止」を宣言して、投稿をやめました。ところがその後も、友達リクエストが続々と入ってくるのです。「あなたのやっていることはとても良いこと

なので・・・」なんてメッセージは書いているものの、わたしの発信内容はまったく読んでなくて「友達増やし」、「『いいね』獲得」が目的であることは確か。

時代は今や SNS 全盛。しかも、パソコンは時代遅れで、スマホ 1 台で情報収集・交流だけでなく買い物から支払い決済までなんでも出来てしまう時代。この先には人間のやることを肩代わりして、しかも人間の能力を超えた仕事ができるようになってきています。うまく使いこなさないと生きていけない時代ではあります。

しかし、どんなに発達しても SNS の世界はあくまでも **ヴァーチャル・リアリティ (virtual reality = 仮想現実) の世界**。しかも **すべての情報はサービス管理者である巨大情報産業と国家に握られて管理**されています。

ここで立ち止まって、実物の人間を前にして目線合わせたコミュニケーションを深めることに力を入れるべきだと思うようになりました。